

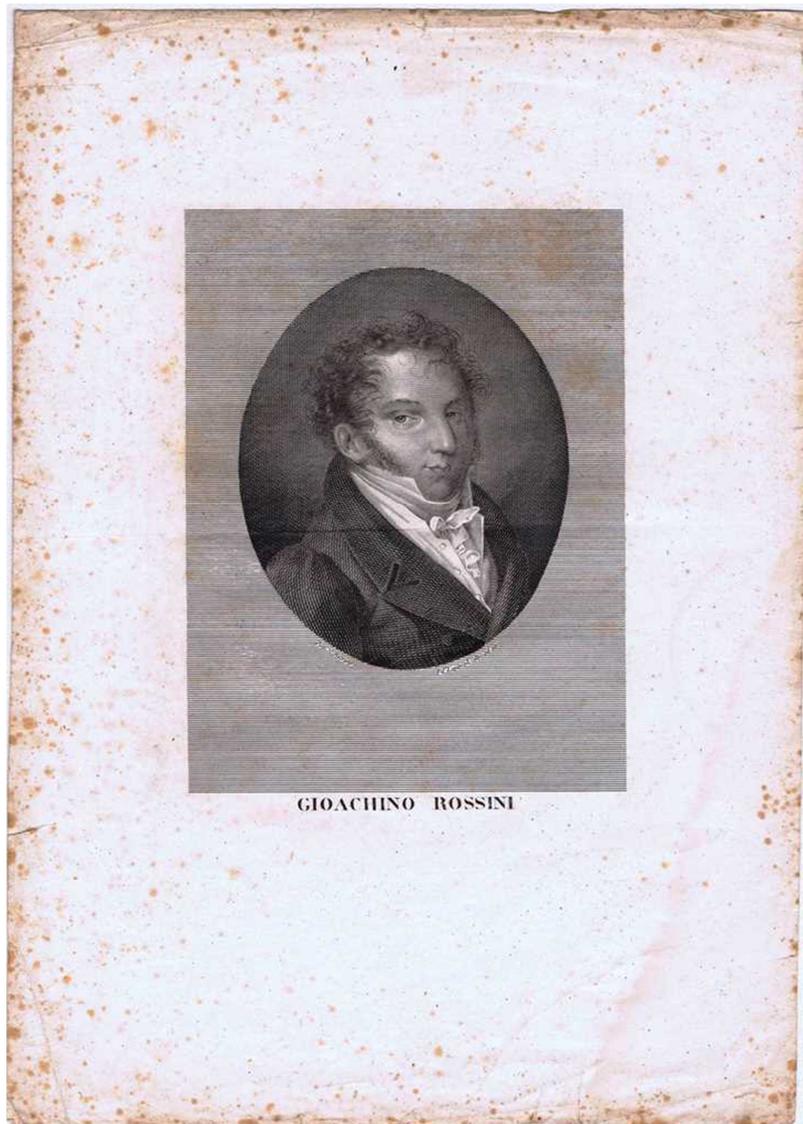
27歳のロッシーニの肖像——フィリッポ・カポラーリによる鋼版画

(水谷彰良コレクションより)

27歳のロッシーニの鋼版画

若き日のロッシーニの肖像画の中でも表情がきついのが、今回紹介する鋼版画（鋼板の彫版 Steel engraving）である。これはフィリッポ・カポラーリ (Filippo Caporali, 1794-1848) がミラーノのニコロ・ベットーニ社 (Nicolò Bettoni) のために制作し、1823年に同社から発売された。同じ鋼版画を所蔵するレート・ミュラーは原画をルイ・デュブレ (Louis Dupré) による1819年のものと認定し、事実なら27歳のロッシーニの肖像となる。

鼻の形と口元の特徴は別掲の「28歳のロッシーニ」(1)(2)(3)と同じで、髪の毛の薄さやもみ上げにも当時の肖像画と共通するが、目元が鋭く、ややきつい表情になっている。筆者所蔵は用紙サイズが32.3×22.8 cm、肖像部分は17×12 cm、下部左に「Per N. Bettoni」、右に「Fil.° Caporali dis. ed inc.」、欄外下部に「GIOACHINO ROSSINI」とある。



27歳のロッシーニの肖像、フィリッポ・カポラーリによる鋼版画（ベットーニ、ミラーノ、1823年）